

### 快適な生活環境の維持向上と推進に向けて

東京都福祉保健局健康安全部環境保健衛生課 課長 木村 秀嘉

平成30年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

東京都ペストコントロール協会並びに会員の皆様におかれましては、平素から東京都の環境衛生行政に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

東京都では、平成26年のデング熱の国内感染発生を受け、感染症を媒介する蚊の発生状況等の調査について、都全域での16か所の広域サーベイランスに加え、平成27年度からは、都市部の公園9か所でも重点サーベイランスを行っており、本事業では、貴協会の豊富な経験と高度な技術力は欠かせないものとなっております。

また、「蚊が媒介する感染症の発生に備えた蚊の駆除業務等に関する協定」を貴協会と締結し、平時の備えと感染症発生時の迅速な対応の整備強化を図っております。引き続き、感染症の防御体制の整備について、御協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、ヒアリの国内初確認やマダニが媒介するダニ媒介脳炎の死亡例や日本紅斑熱患者の増加、スズメバチ被害など、PCOに関係する出来事がマスコミ等で取り上げられる機会が多く、どのようにしたら身を守ることができるのかということに都民も高い関心を持っています。

このような中、昨年日本ペストロジー学会東京大会では、市民公開セミナーを初めて開催し、第一線の研究者や医師等専門家の講演に市民が参加できる場を設けるなど、日本だけでなく海外の情報を様々な機会をとらえて発信する貴協会の取り組みを、都は高く評価しております。

本年は、貴協会創立50周年を迎えられる年であります。慶賀の至りであるとともに、協会の永年にわたる現場で培われた豊富な知識や技術、科学的知見に裏打ちされた専門性の高い活動に、改めて深く敬意を表すところです。この栄えある創立50周年を契機に都民の衛生的で快適な生活環境の維持向上と推進に、一層、御尽力をいただけるものと期待しております。

結びにあたり、本年が貴協会にとりまして更なる発展の年となりますよう、また、会員の皆さまの御健康と御活躍を祈念しまして、年頭の挨拶とさせていただきます。